

イジメの代償は母親の
カラダで。

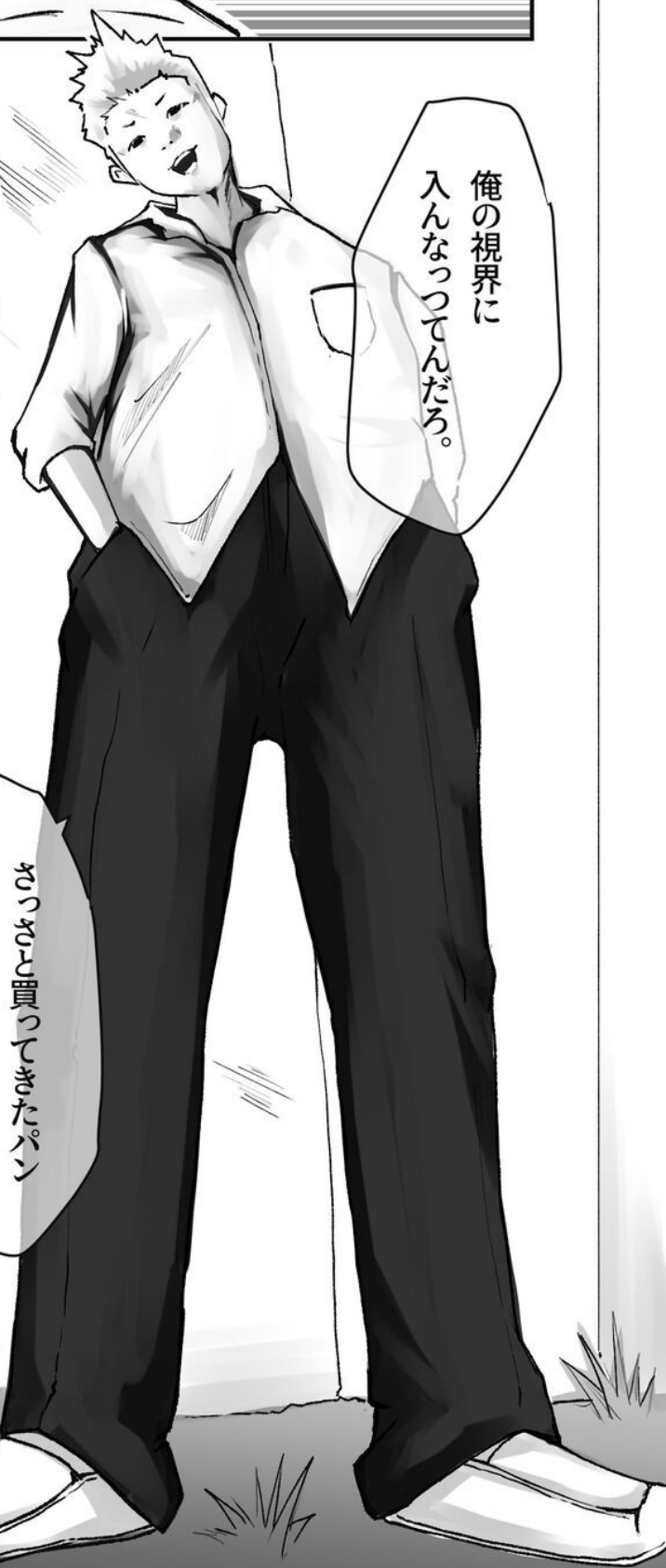


トビメの升賞お母様の
サルダに。





俺の視界に
入んなってんだろ。



さっさと買ってきたパン
置いて消えろキモヲタ。

いっめん…。

ひでえw
視界に入らずどうやって
おつかいすんだおれ



ギヤははw



好きにやればいぢね…。
キミの罪は全部…。



ごめんなさい...っ
ごめんなさい...っ

ウチの子が...っ
ごめんなさい...ッ

今日は、パンを買って
来いって言われて...

渡しただけなのに
殴られたんだ。

ごめんなさい!!

あーっ

クッ

クッ



おばさんの
子供の話だよ…ッ



分かって
るの!?

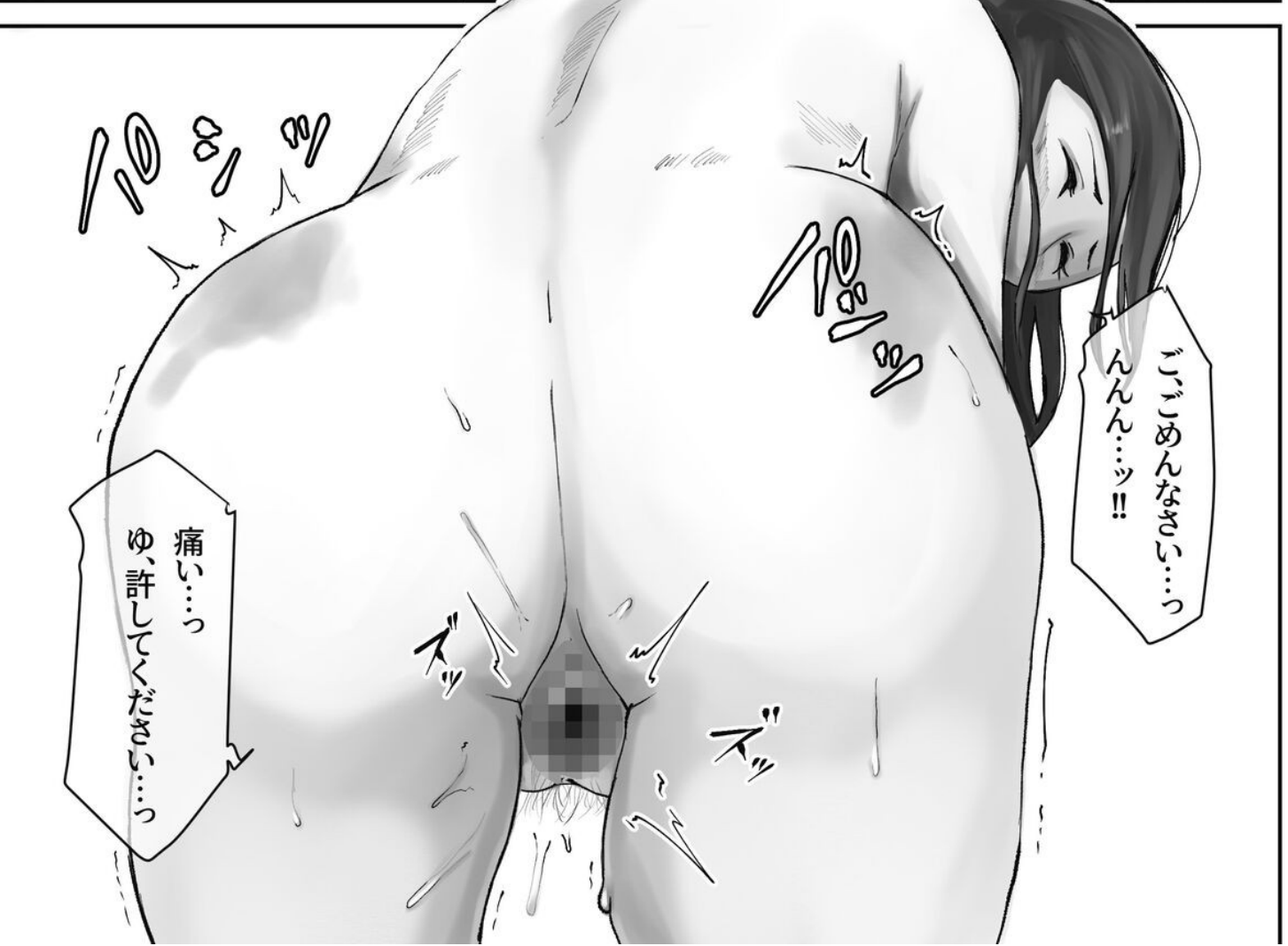


他人事じゃ
ないんだよッ

ああッ!!

い、痛い…ッ

もっと謝れッ
僕に誠意をみせろッ



ごいめんなさい…ッ
んん…ッ!!

痛い…ッ
ゆ、許してください…ッ

そんなんじゃダメだ...っ
もっと膣に力入れろっ

汁穴萎ませろッ

ここぞ...っ

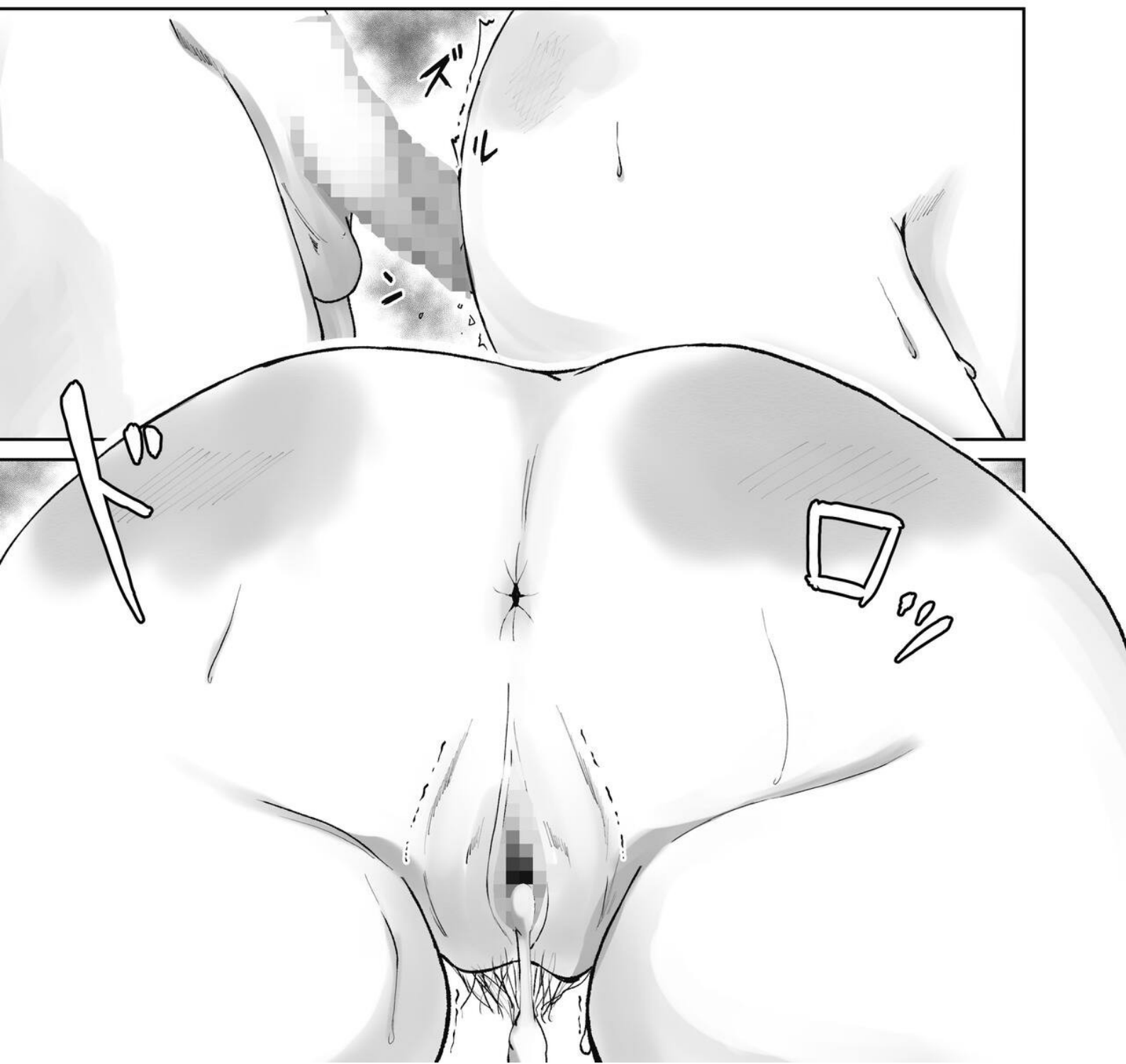
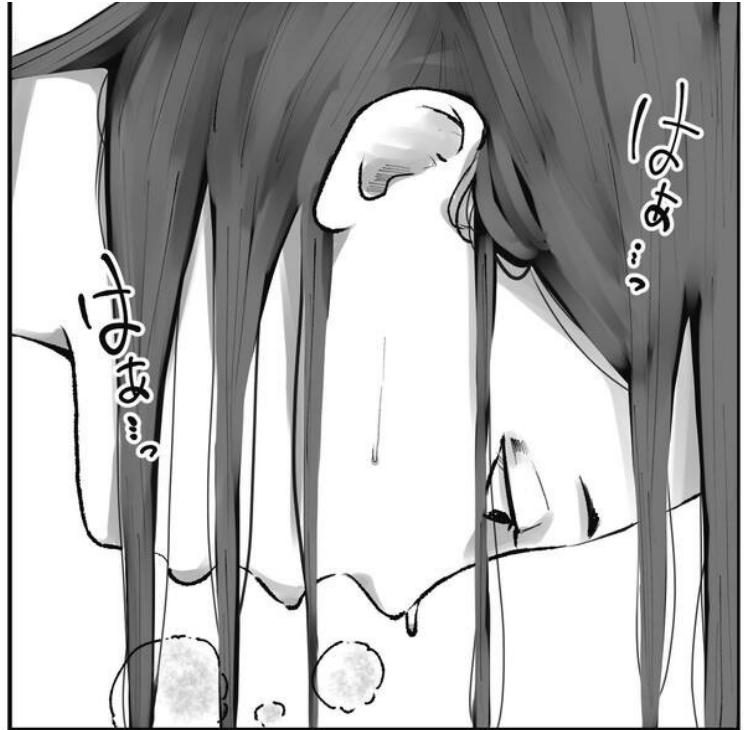
そのままじつと
してろッ!!

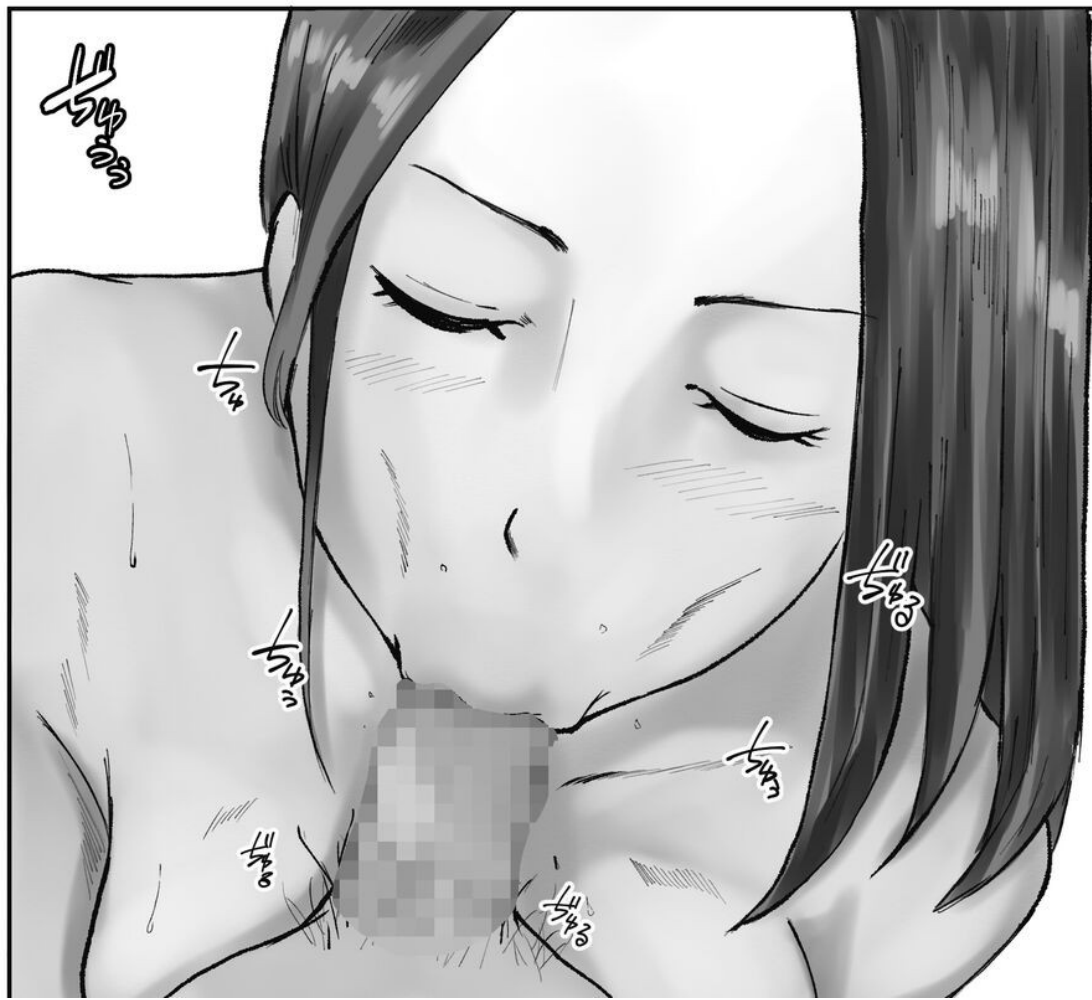
謝れっ!!

謝れっ!!

ごめんなさいっ!!







あの日からあいつとイキスな日々は
必ずあいつの母親を犯してやる…。



ウチの秋一が…?

そう…



え…。

ごめんなさい。



あの子、昔はあんじゃ
なかったんだけどね…。

あいや…
おばさんが謝るってじゃ…



どうぞ。

改めて、あの子とキチンと
謝罪に伺います。

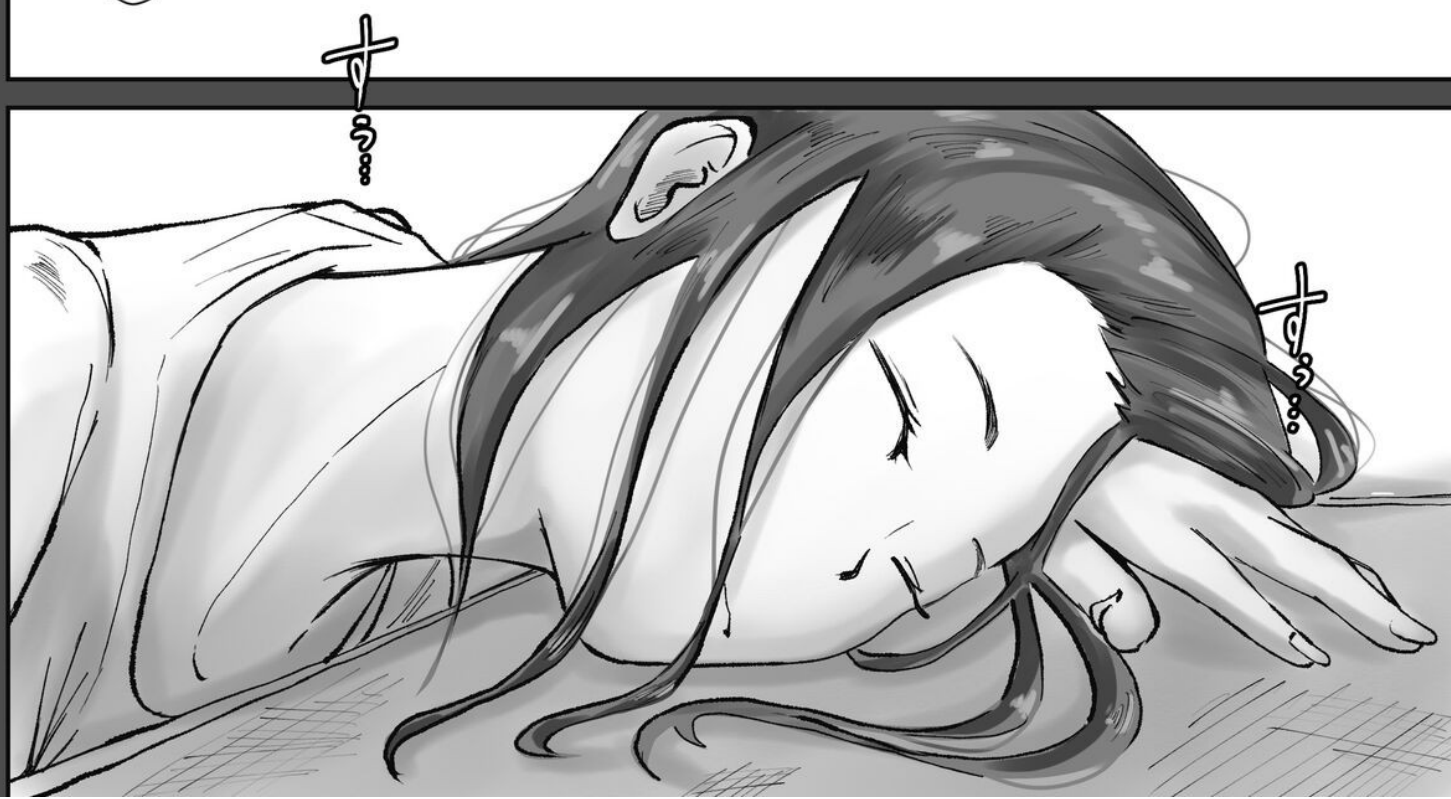
本当にごめんなさい…。

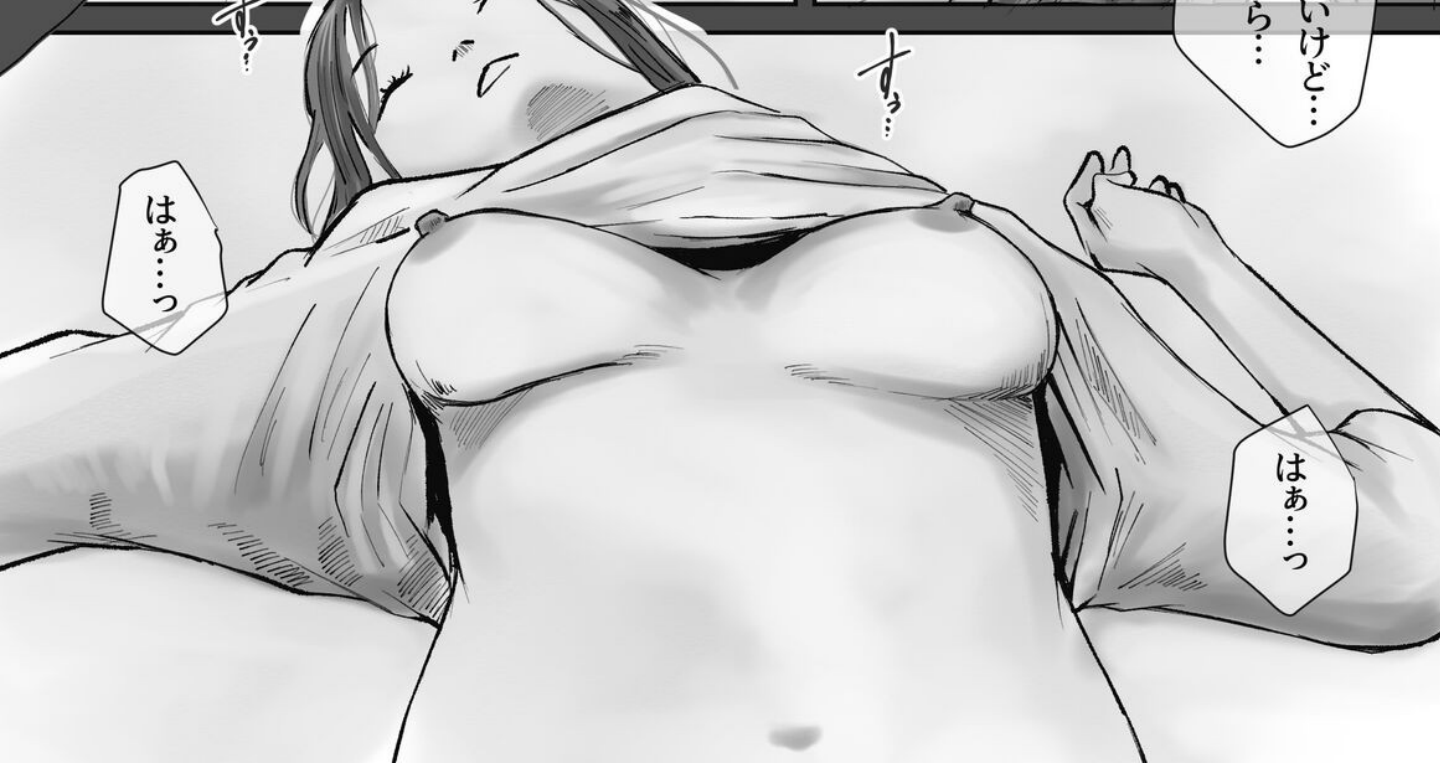
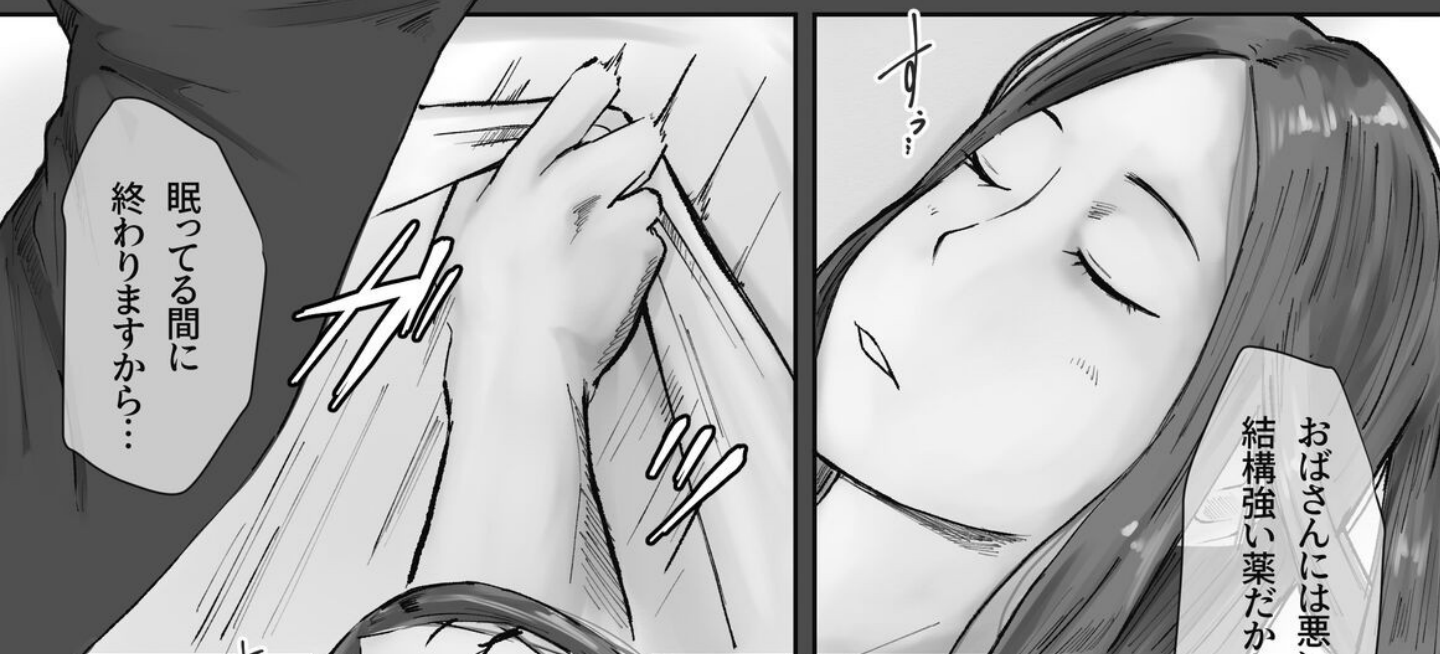
おばさん…。

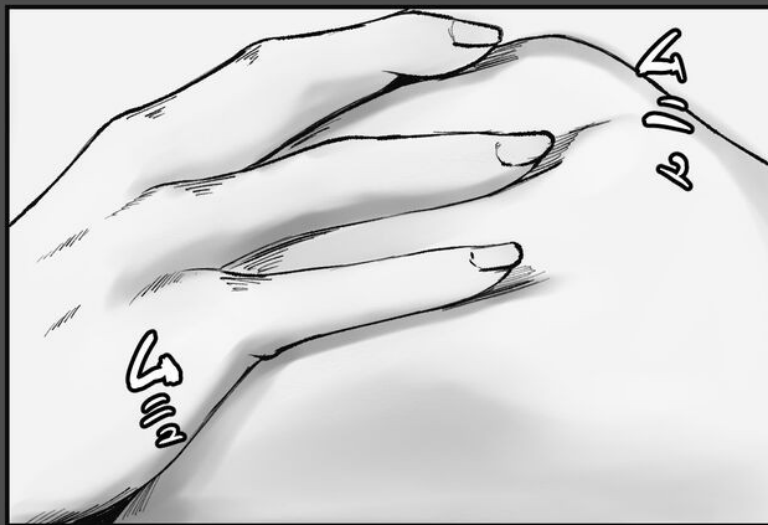
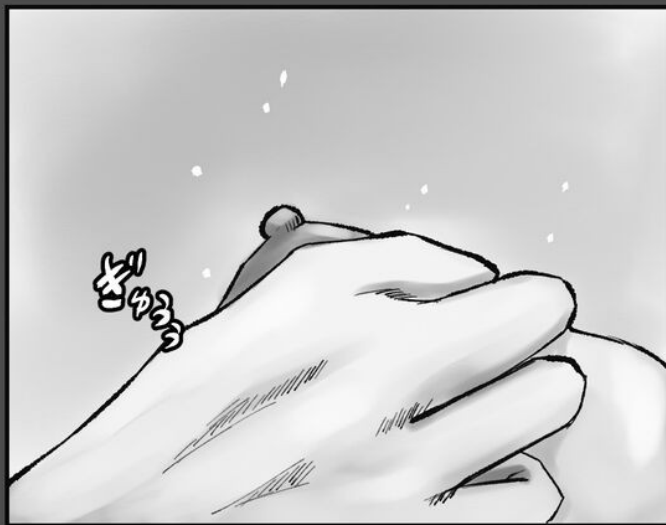
ほんとそんなつもりで
来たんじゃないんで…。

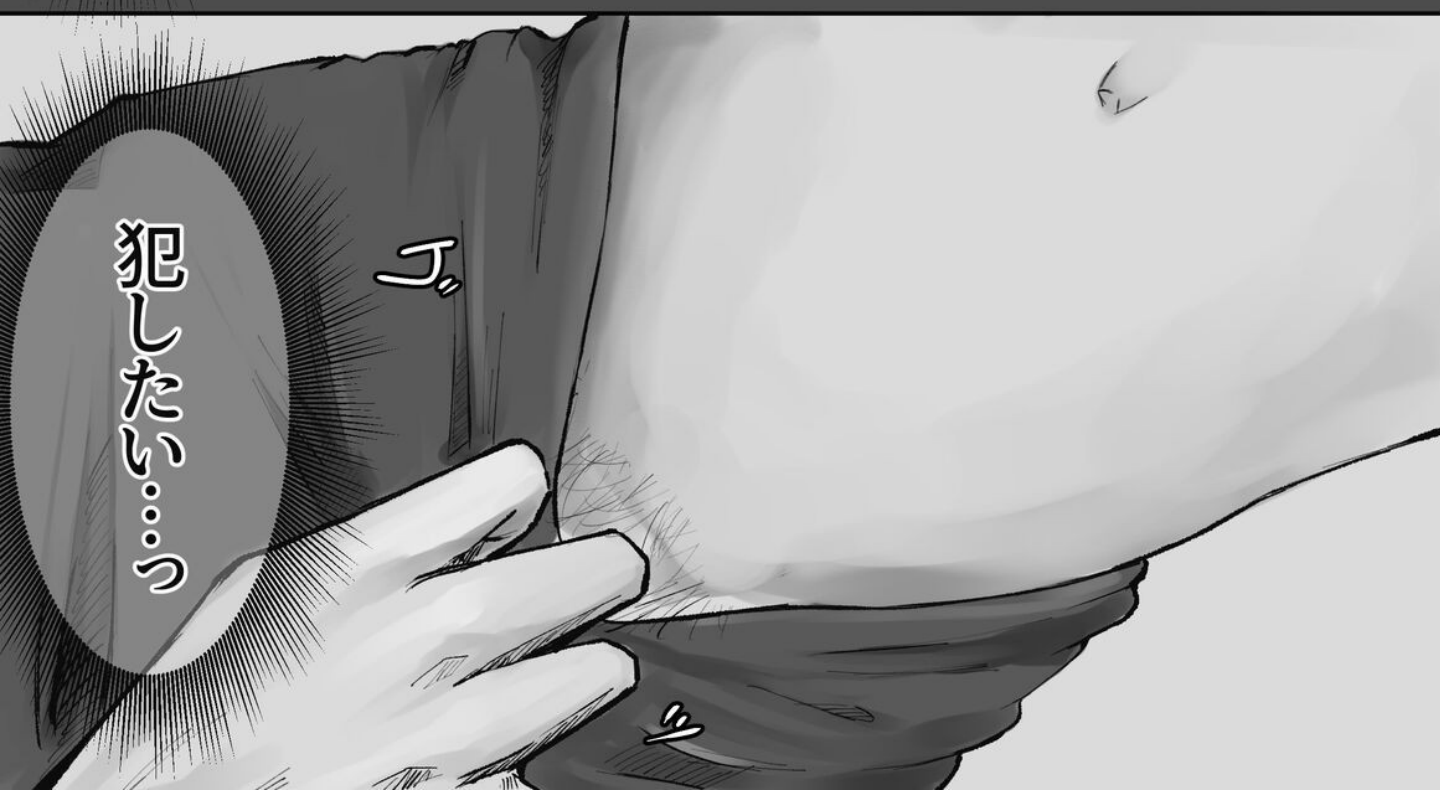
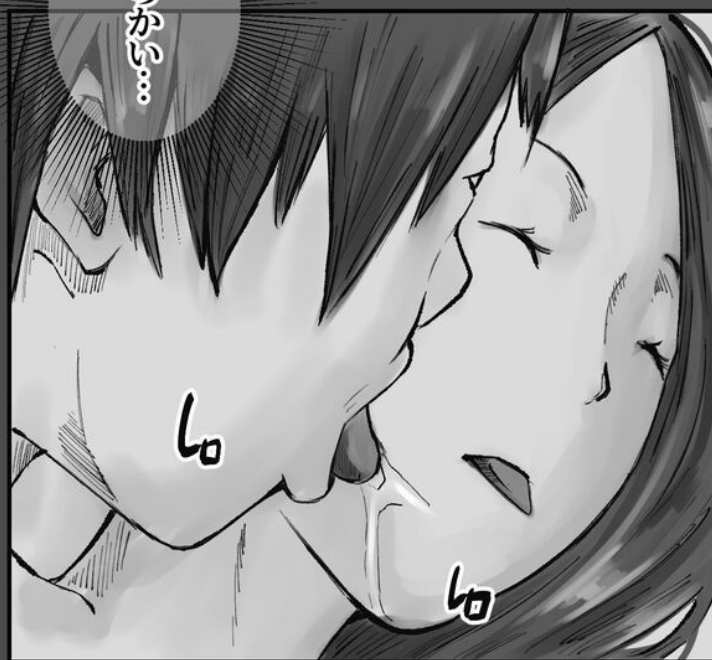
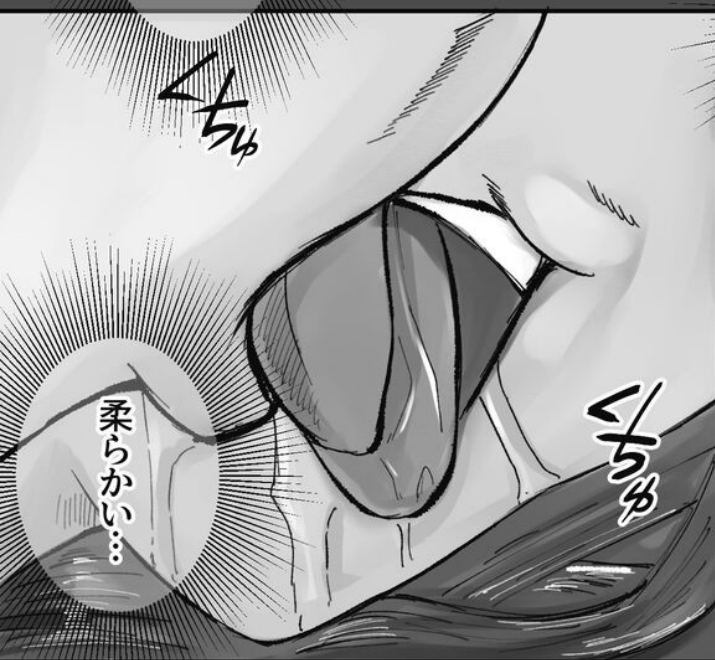
おばさんも飲んで
落ち着いてください…。

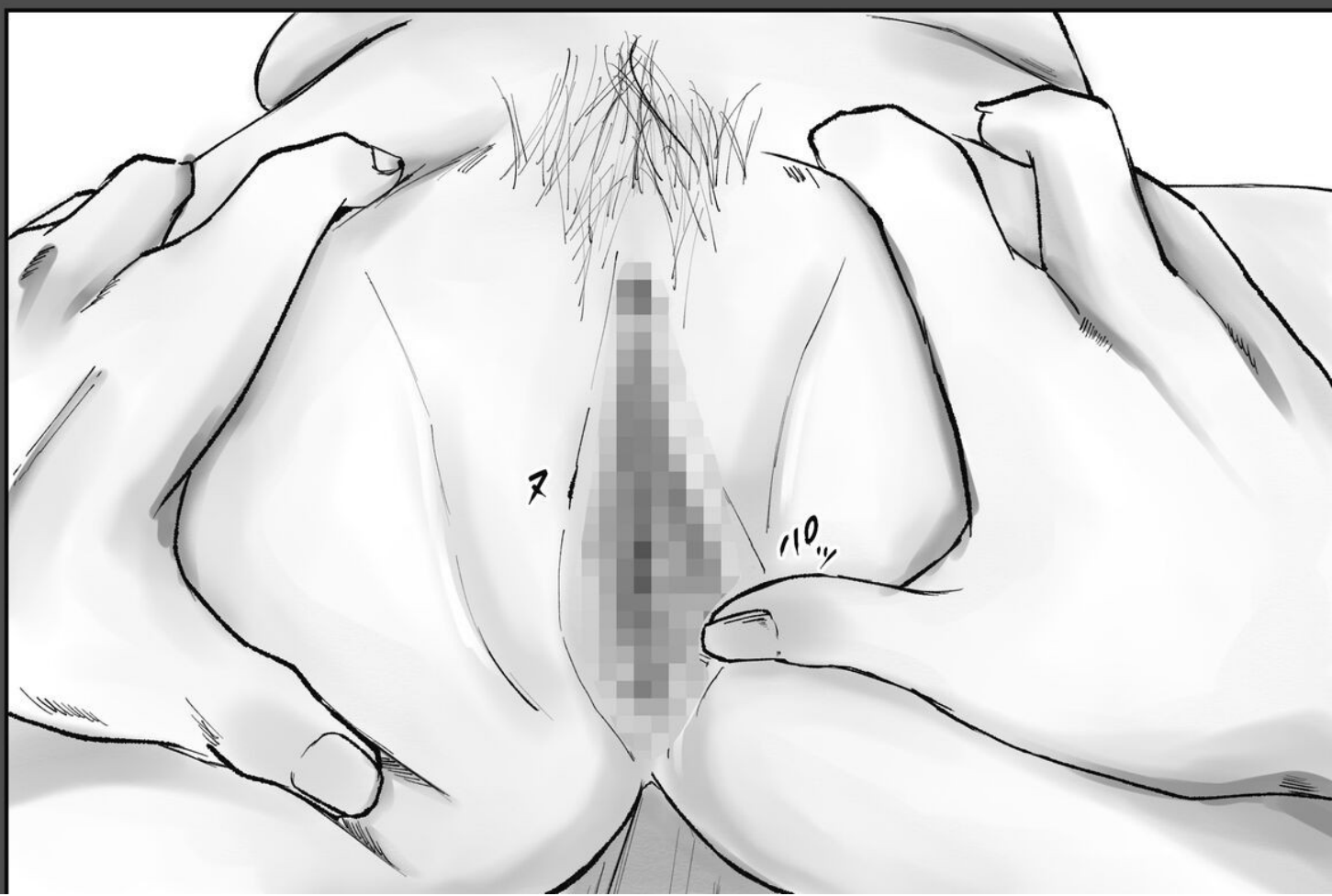
あ、ありがと。



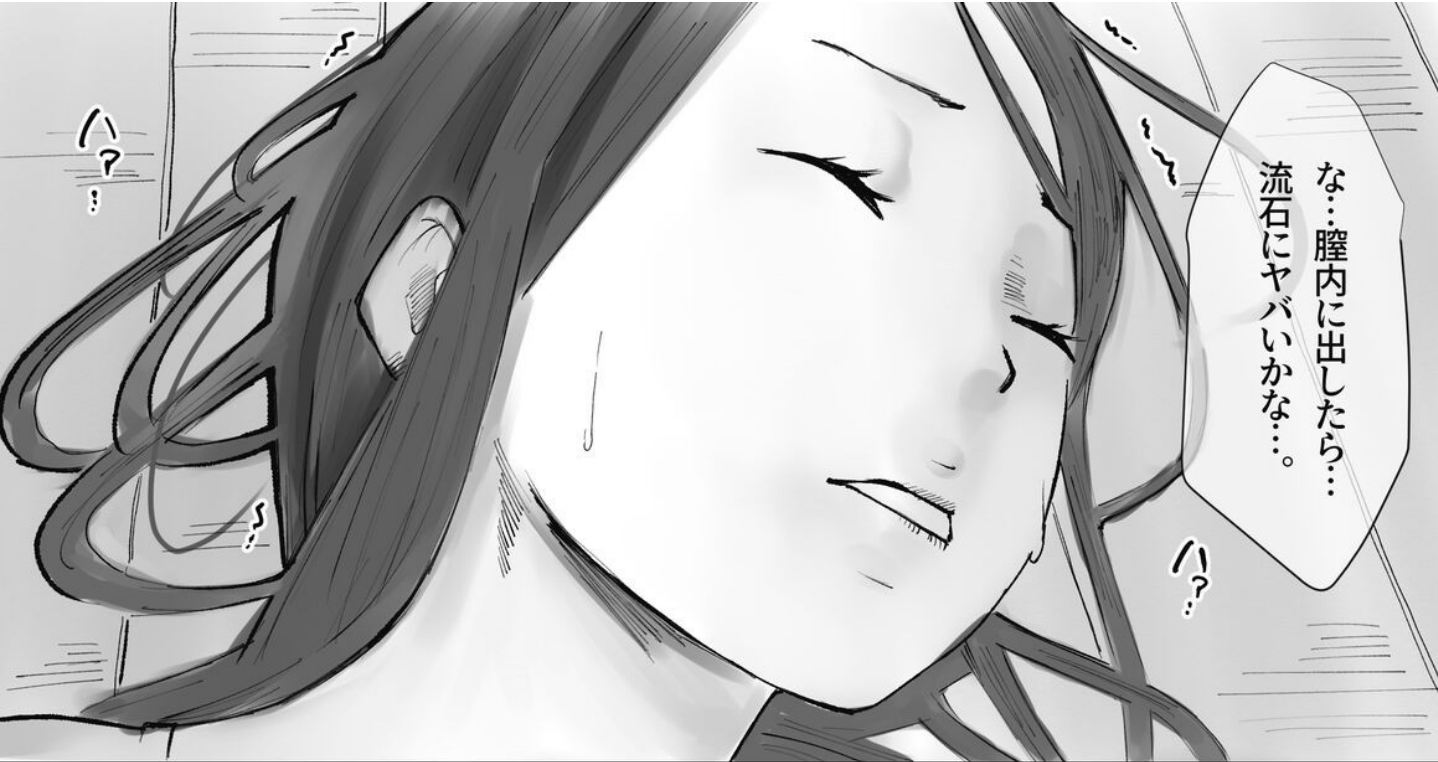


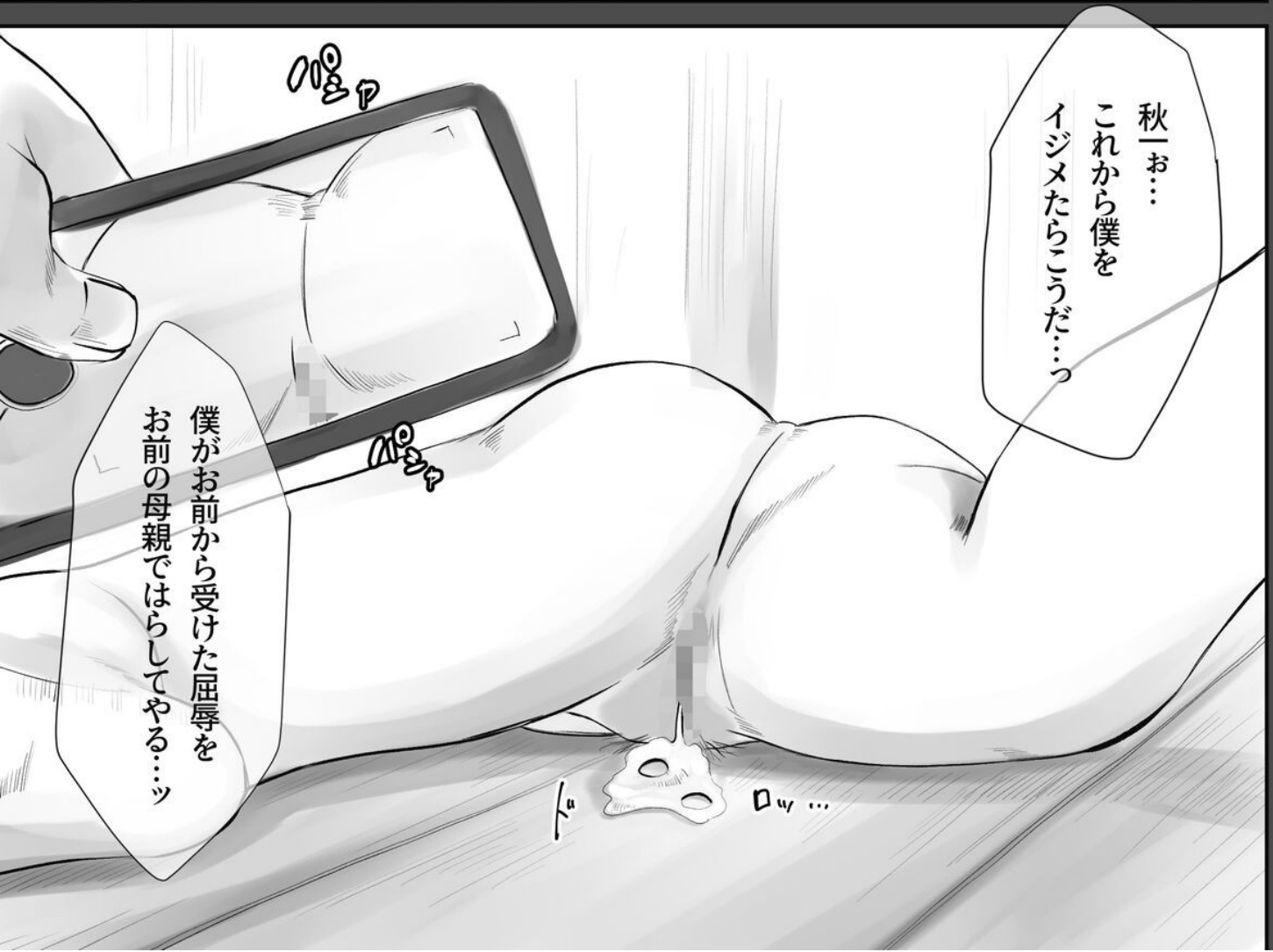
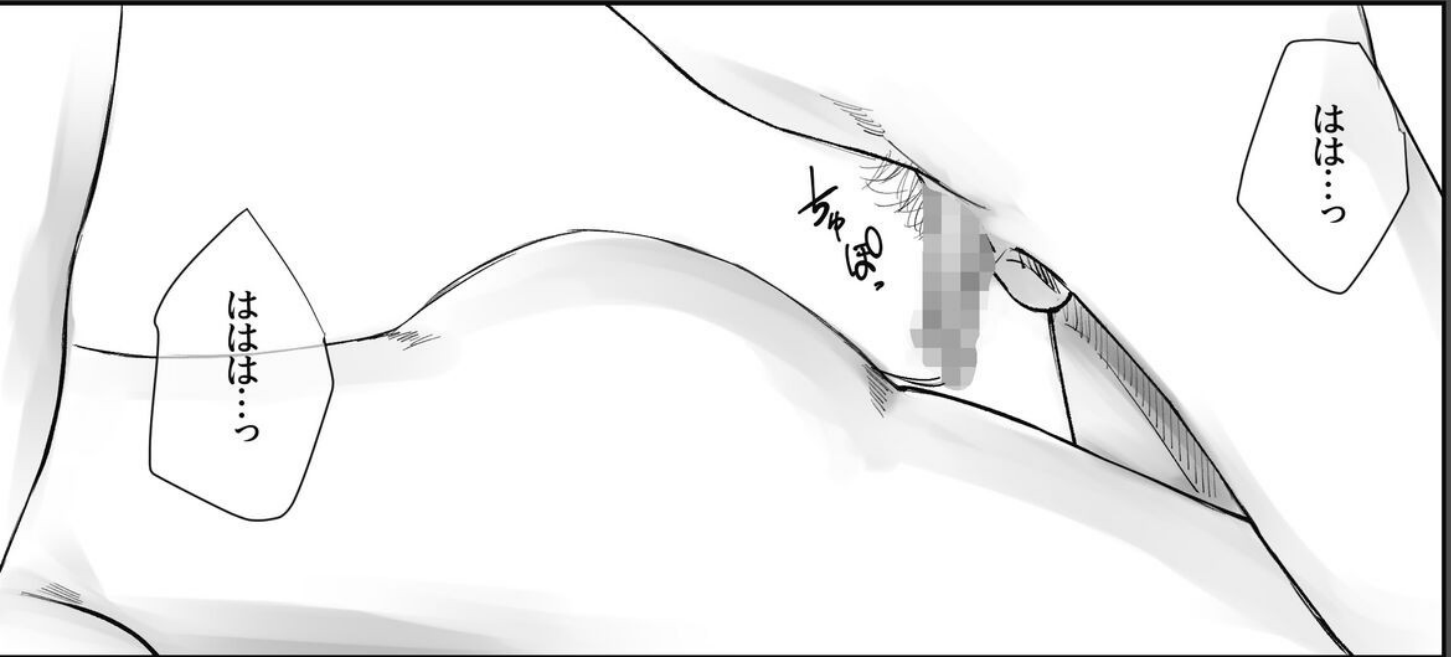












それから秋一にイジメられる度におばさんを犯している。

今日も中々気持ち良かったな。

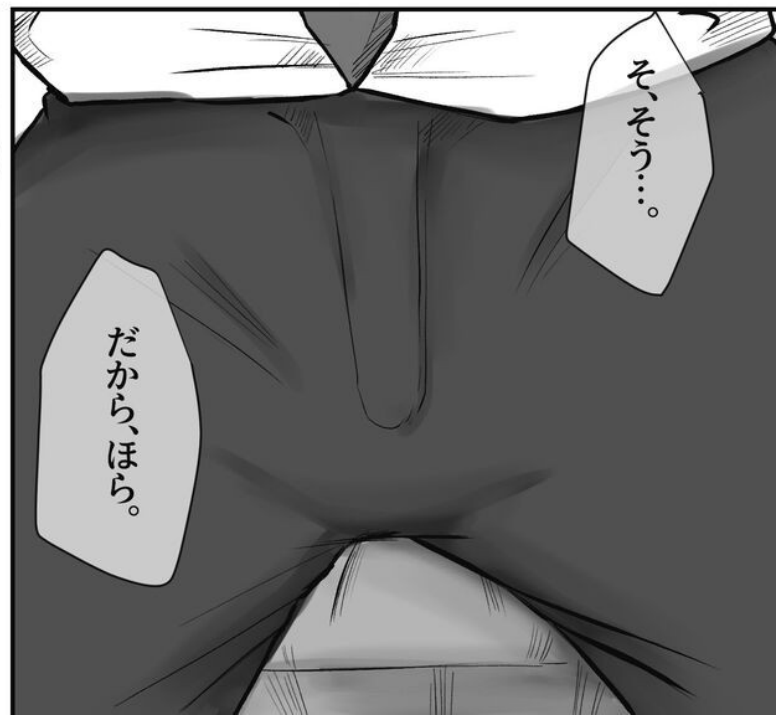
最近では、おばさんも諦めたのか抵抗しなくなってきた。

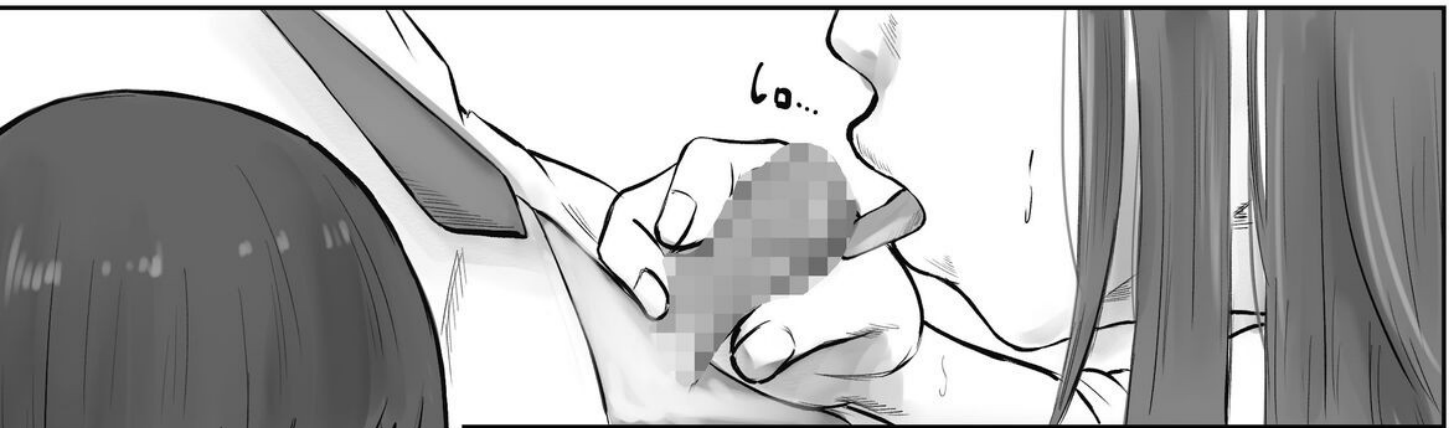
ふふふ...

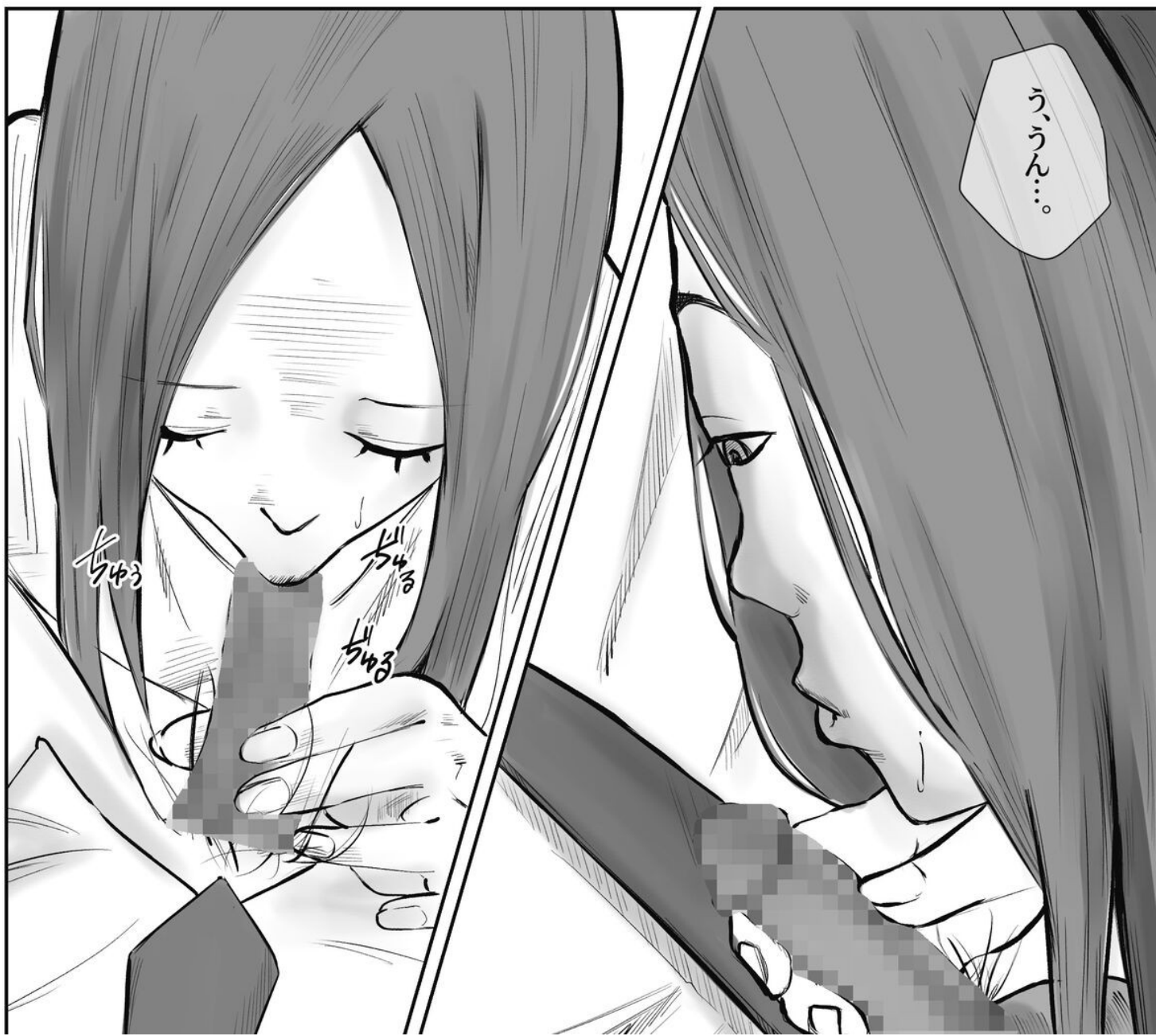
秋一が知ったらどんな顔するかな...

あ？

なんで、お前がこんなところにいるんだ？











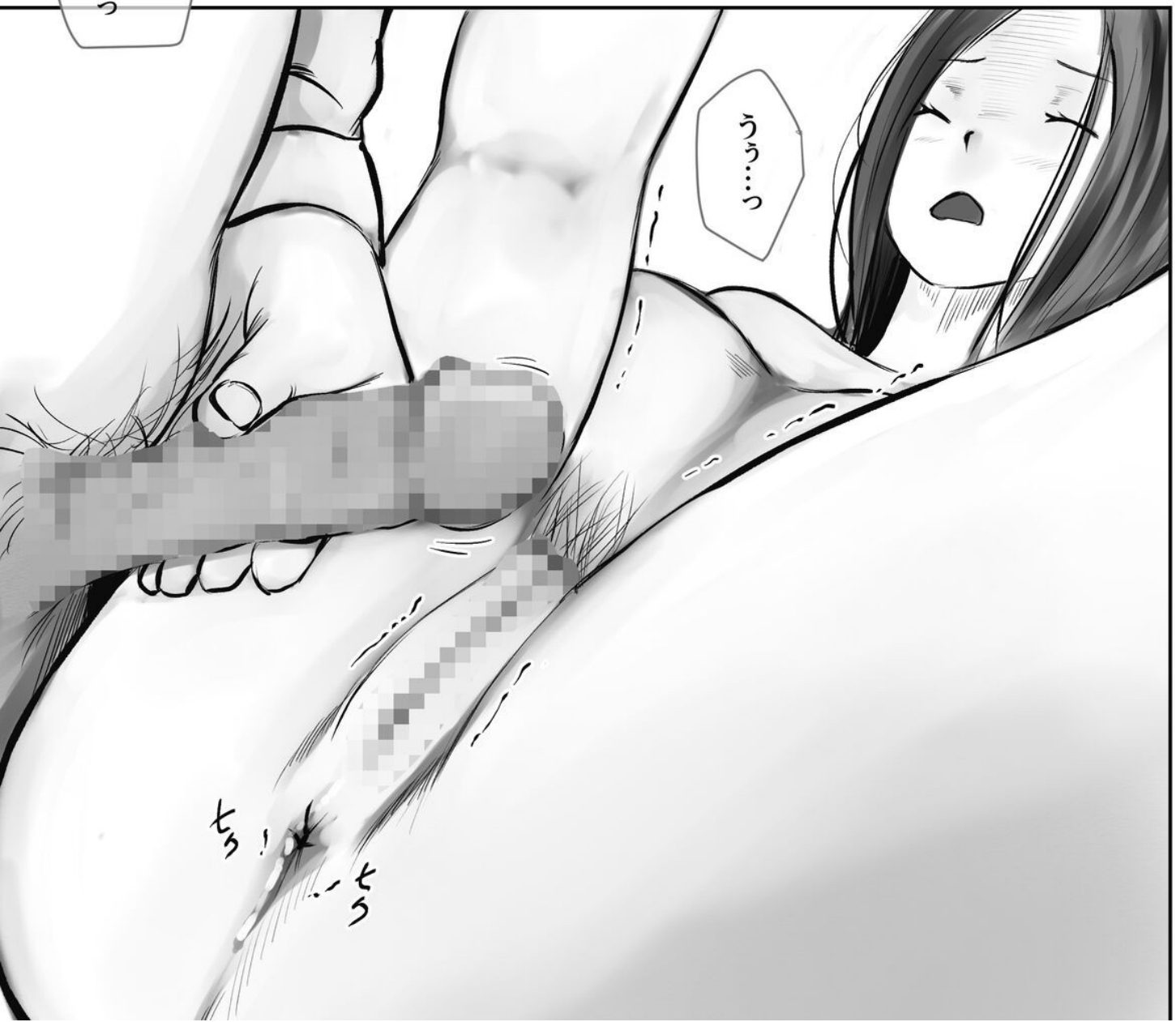
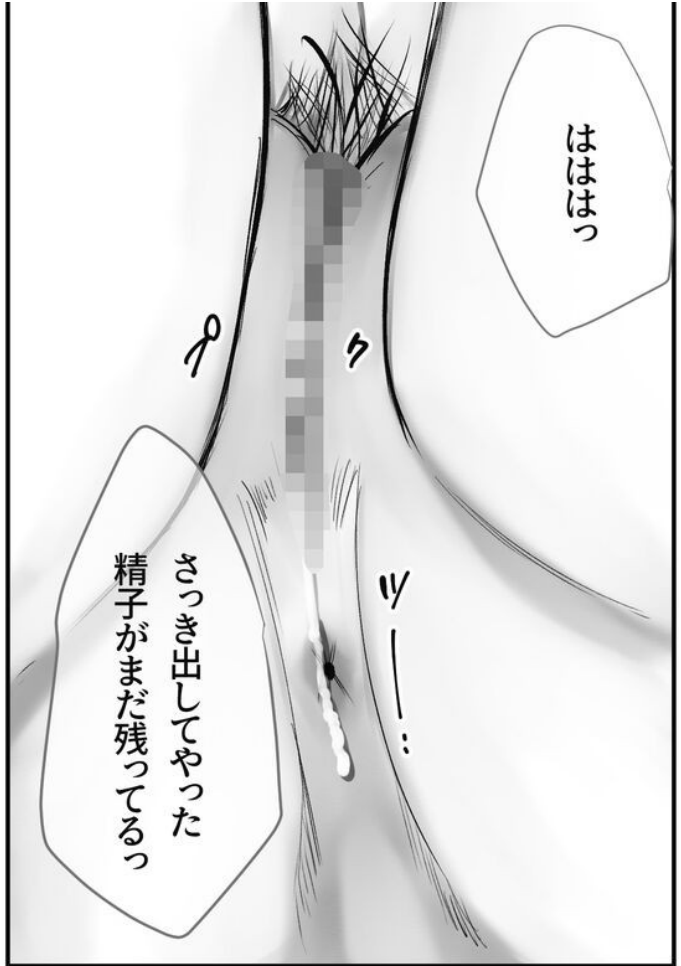
嫌じゃねえんだよッ!!
僕の顔を見ろよッ

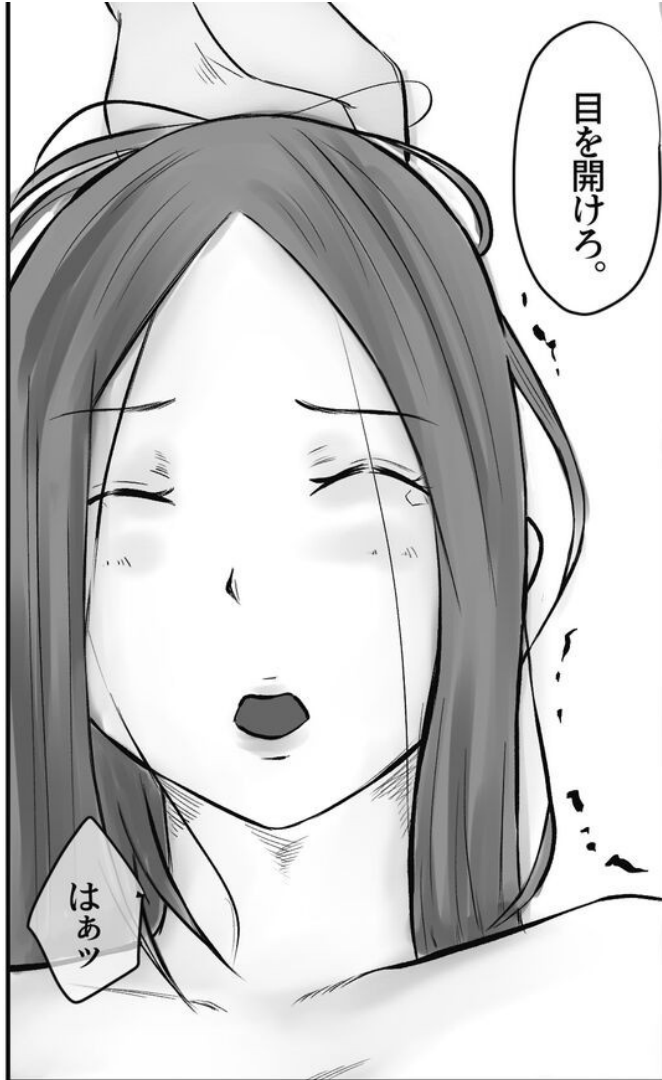
お前のバカ息子の
せいだぞ!!

黙って僕の
言うとおりにしろよッ!!
ハメ撮りだってあるんだぞ!!

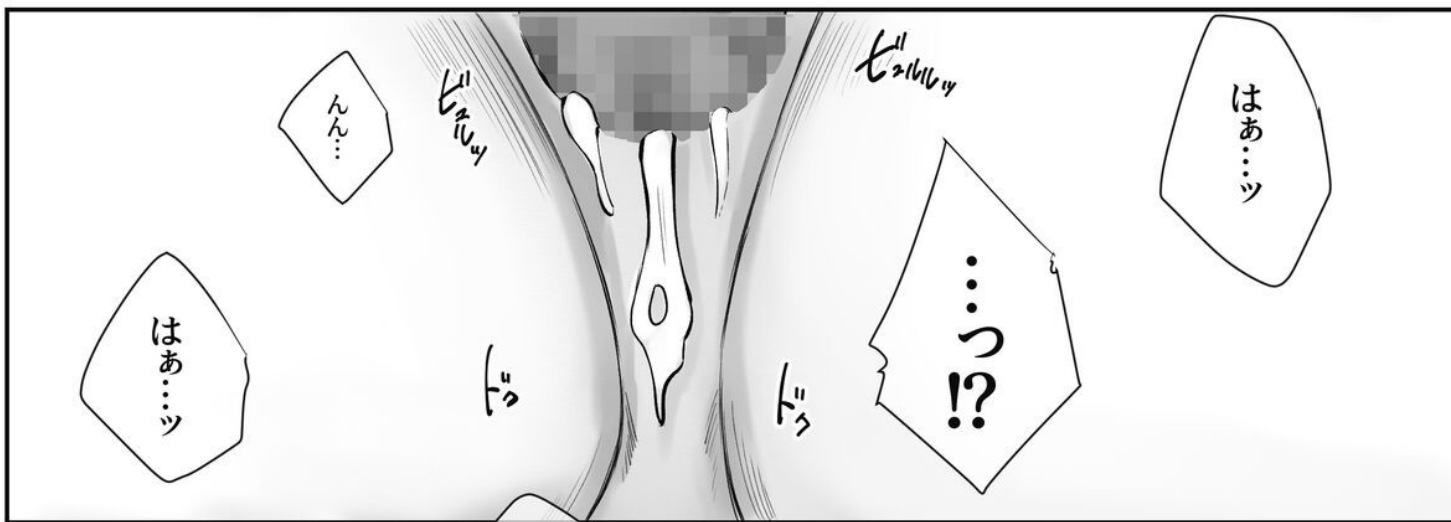
うう…っ

見ないで…。

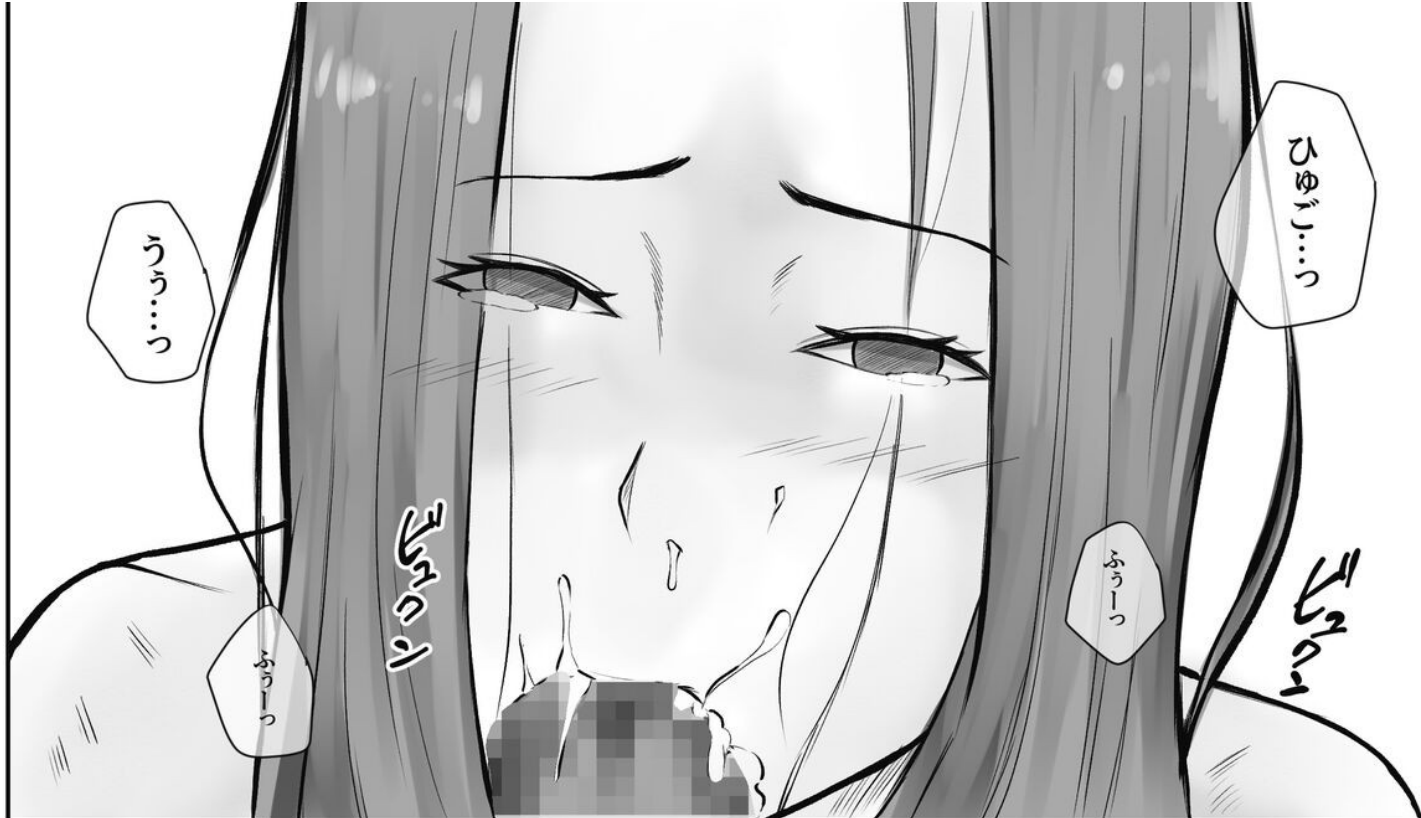


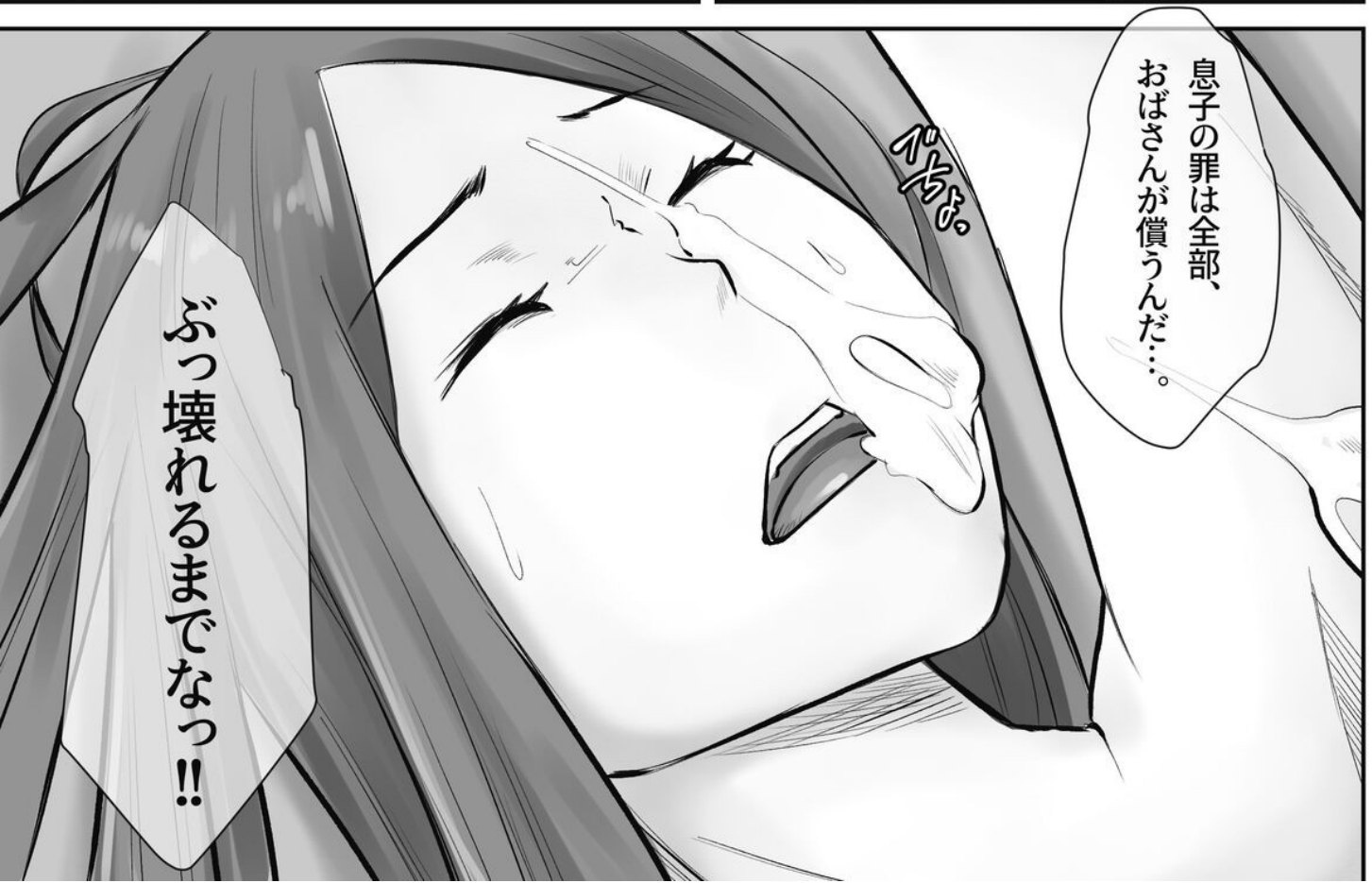
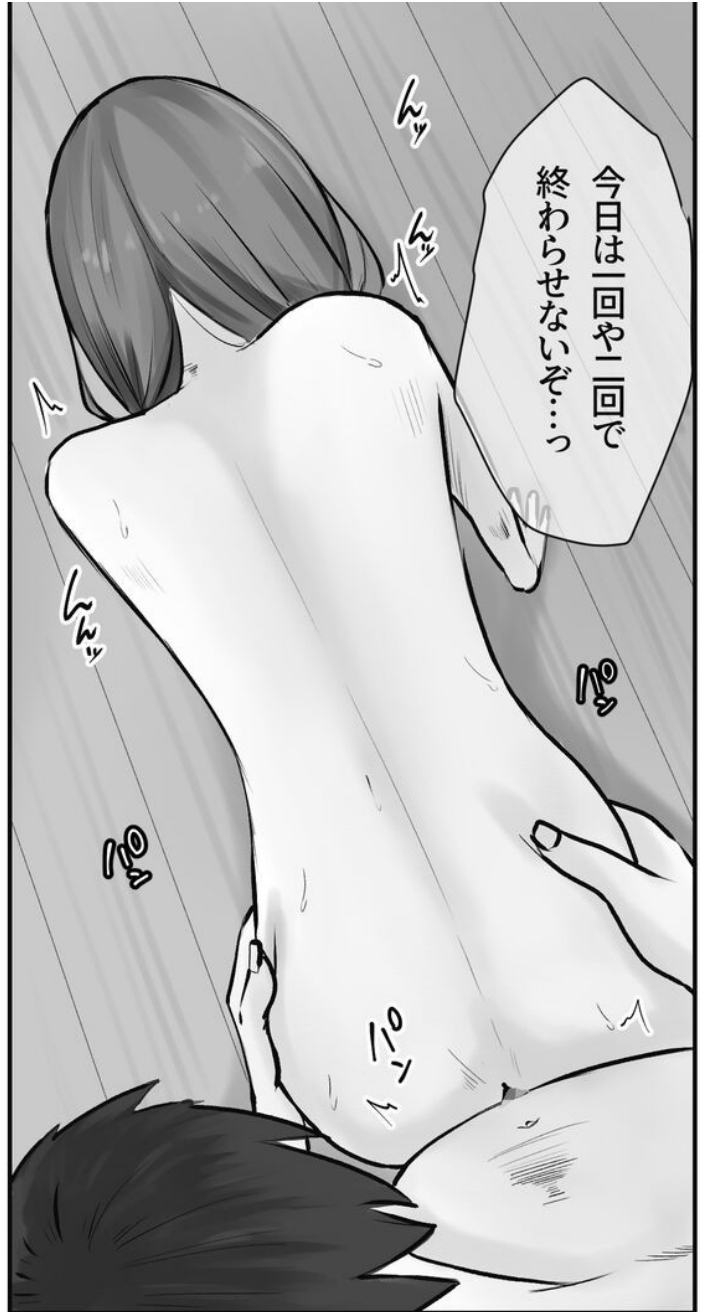




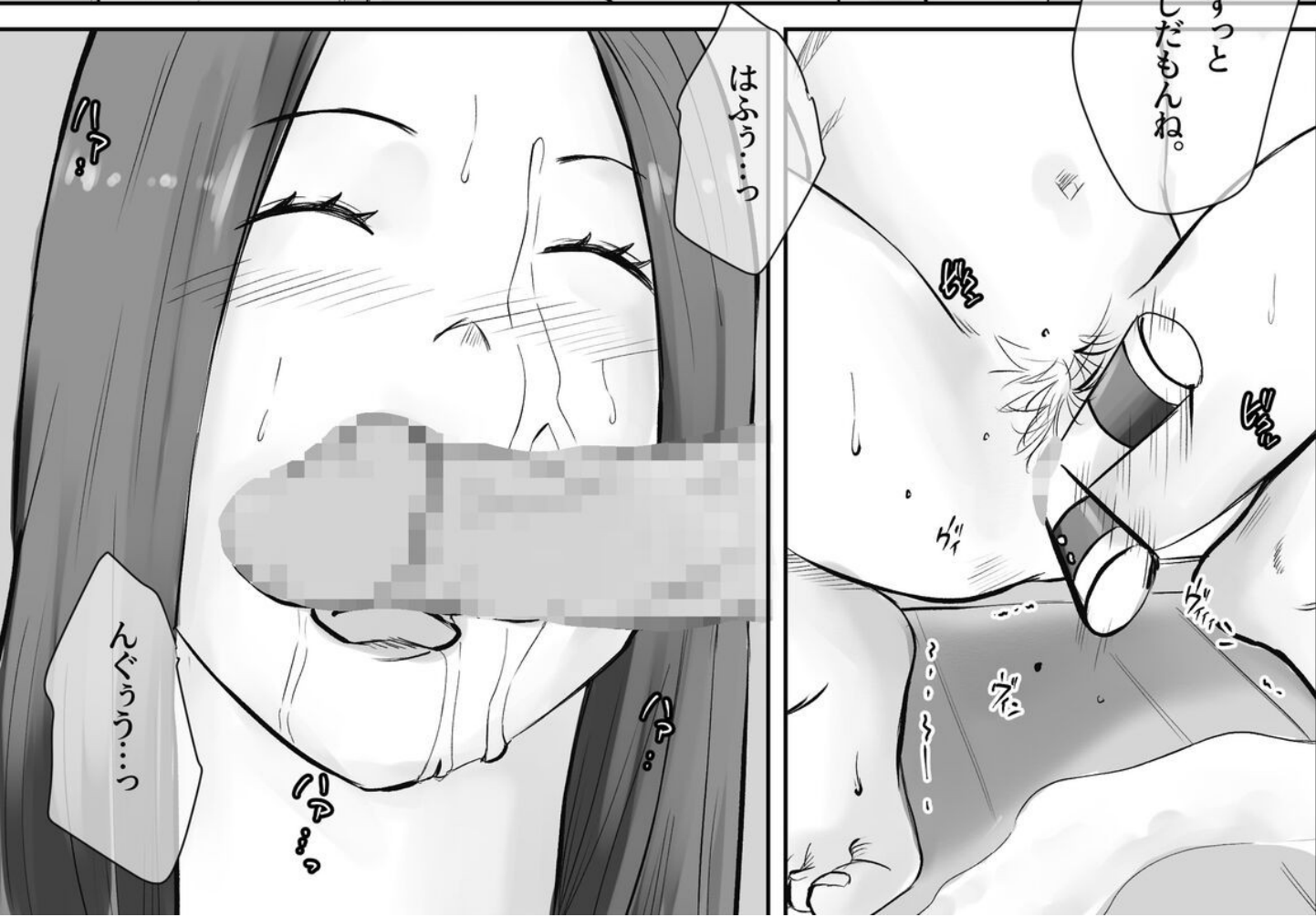












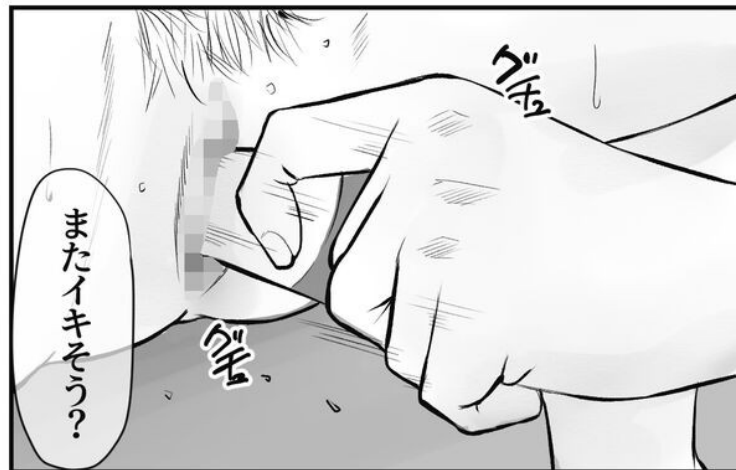


いやあッ!!

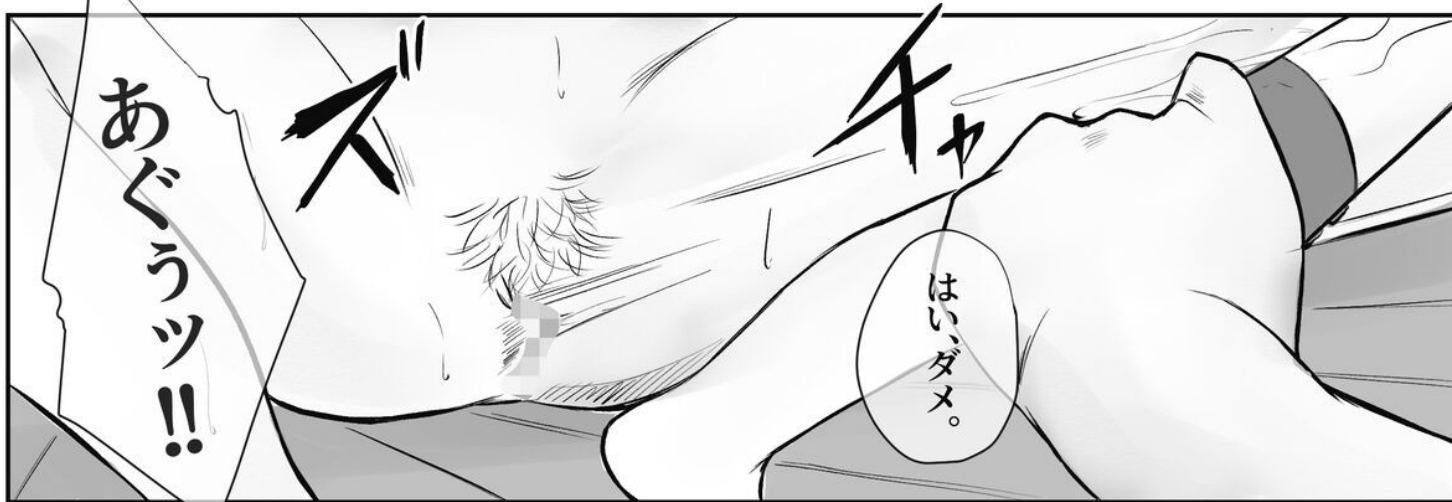
イク…
イッちゃう…ッ



ほら。
気持ちいい?



またイキそう?



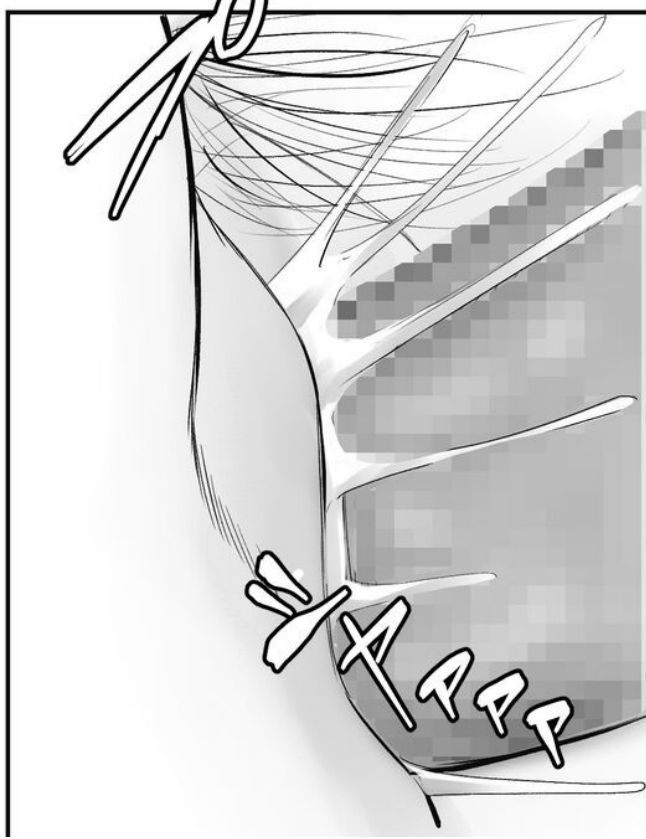
あぐうッ!!

はい、ダメ。



こっちでイカせて
あげるよ…っ

本物の方が
嬉しいでしょ…っ





ハメられながら
潮吹くとか…。

おばさん
変態だなあ。



犯されて気持ち
良くなったの？

クズの親はビッチかつ
淫乱っ!! 尻軽っ!!
色狂いッ!!



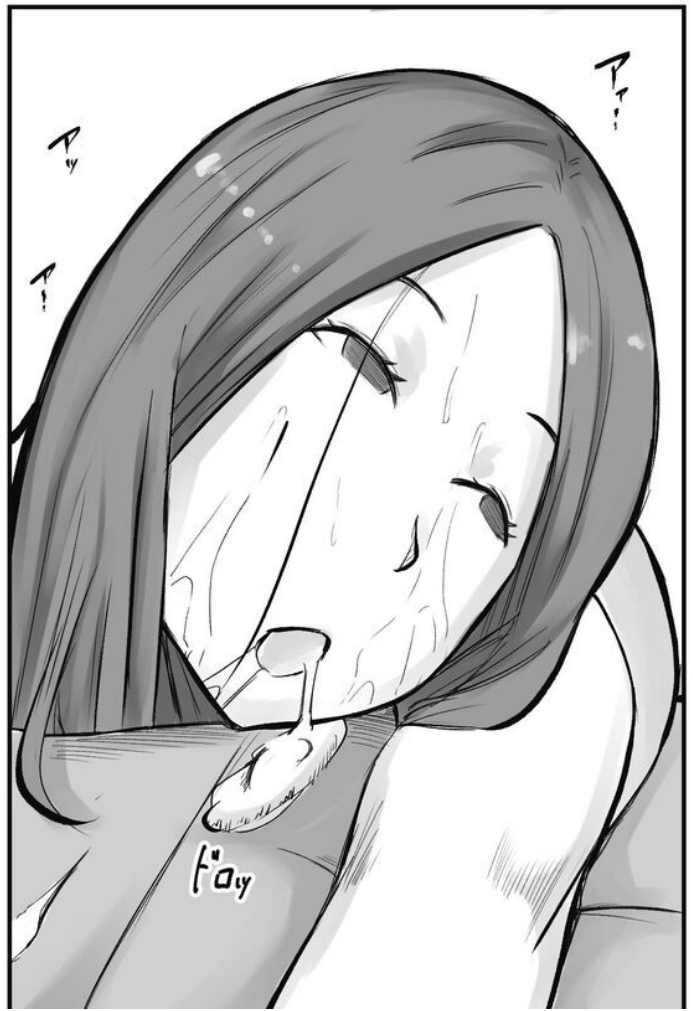
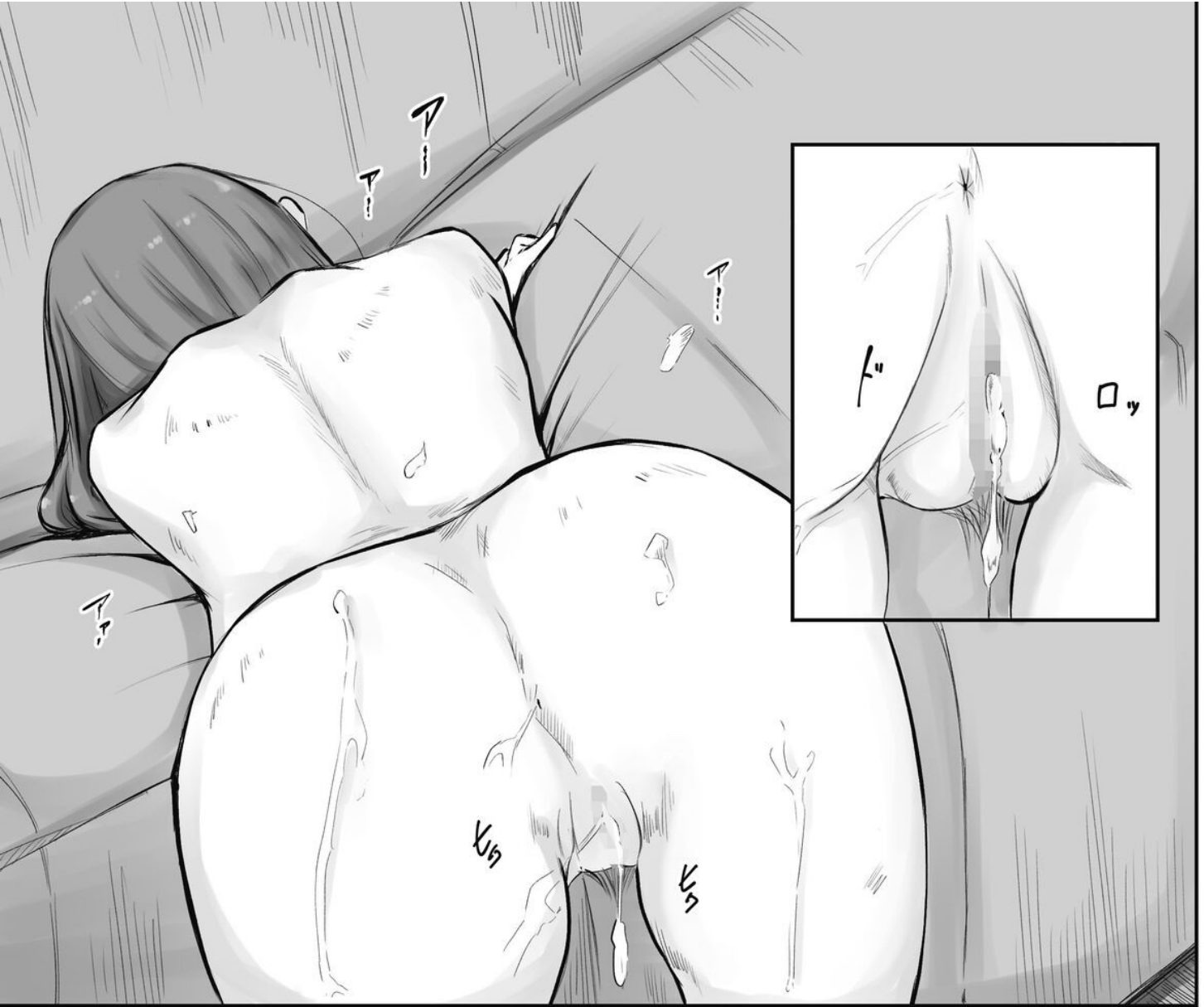
まだまだ犯し
続けてやる…っ

さまあみろ…
秋一お…。



へ…っ
反応なしかよ。

でもまだだ…



次の日から不思議と秋二からの
イジメがなくなった。

自宅付近をうろついてた僕で
警戒したのか…。あれから母親の
ぶっ壊れた姿でも目撃したのか…。

どちらにせよ僕の地獄の
日々はこれで終わったのだ。





ハッ

お願い…

ハッ

ハッ

もう一度…

ヒッ

キッ

ヒッ